

令和4年5月定例会

(2022年)

市議会議案参考資料

(追加議案)

議案第74号 令和4年度吹田市一般会計補正予算(第4号)

吹 田 市

議事番号	事 件 名	議案書 ページ	参考資料 ページ
議案第74号	令和4年度吹田市一般会計補正予算（第4号）	5	5

防災対策事業における不発弾処理対応について

1 趣旨

令和4年(2022年)4月27日に南吹田3丁目の工事中の民有地で建設事業者により発見された不発弾(弾頭及び弾底に信管あり。長さ1.8m、直径0.6mの米国製2,000ポンド普通爆弾(1トン爆弾)1発)について、周辺住民等の安心・安全な生活環境を早急に確保するために、吹田市地域防災計画に基づく応急対策体制をとるとともに当該不発弾の処理に係る費用を確保し、迅速な処理対応を進めるものです。

なお、不発弾処理に係る必要な事項について、本市、地権者及び当該建設事業者の3者で覚書を取り交わし速やかに措置を講じるとともに、覚書に基づき撤去に係る費用は市が負担するものです。

2 事業の内容

(1) 撤去当日の現地対策本部及び避難所の運営、避難誘導等に係る経費

現地対策本部及び福祉避難所を含む避難所運営に必要となる感染症対策物品や熱中症対策物品を配置するほか、医療従事者の派遣体制を確保し避難された方や対応職員等の健康管理に努める。

また、要配慮者を含む住民等が安全かつ確実に避難できる誘導體制を確保する。

(2) 警戒区域内からの避難及び通行規制等に係る住民等への周知のための経費

警戒区域内からの避難を呼びかけるとともに、撤去日に警戒区域外から車両等の進入により撤去作業が中断されないことがないように、事前広報としてチラシ配布や看板設置等を行い周知徹底する。

(3) 不発弾の安全な撤去を行うための経費

不発弾処理に関して、発見現場での安全確保のため24時間体制で警備員を配置するほか、万一の事態が発生した場合を想定し、不発弾の周囲にライナープレート及び約1tの土のうを用いて高さ6mの構築物を設置するとともに、周辺住民への影響を最小限に留めるため警戒区域の範囲を可能な限り縮小することに努める。

3 実施による効果

吹田市地域防災計画に基づく、応急対策として対応するため、災害対策基本法第63条に基づく警戒区域の設定など市の責務として周辺住民の避難対応ができ、撤去作業を円滑に行うことができる。

また、市が迅速な処理体制を確保し構築物の設置や仕様の決定など主体的に進めることで、周辺住民等への影響範囲を最小限に縮小することができる。

4 予算額

歳出 31,096千円

(款) 消防費 (項) 消防費 (目) 災害対策費

(大事業) 防災対策事業 (小事業) 防災対策事業

節名称	予算額(千円)	積算及び説明等
報償費	426	避難所派遣医師謝礼金ほか
需用費	734	感染対策費、事務用品、チラシ等
使用料及び賃借料	6,636	現地対策本部及び避難所資器材借上料ほか
負担金、補助及び交付金	16,700	構築物設置及び撤去に係る費用
	6,600	不発弾現場警備に係る費用

不発弾等の処理のために要する経費（構築物設置、撤去、警備員費用等）については、特別地方交付税の対象となり経費の1/2が措置されます。

5 経過及び今後の予定

令和4年（2022年）4月27日	南吹田3丁目の民有地において不発弾発見
4月28日	不発弾処理対策本部設置
5月～	関係者・関係機関との調整等
6月6日	不発弾処理対策本部で不発弾処理の実施決定 不発弾処理の実施に関するプレス発表
6月上旬	構築物 部材発注（納期、構築とも2週間必要）
6月中旬	実施計画作成
7月初旬	不発弾処理現場準備作業開始
7月下旬	不発弾処理実施、周辺住民の避難等

※今後のスケジュールについては、関係機関との調整状況により前後します。